

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-3-2 情報発信等誘客宣伝活動の強化
---------	------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	観光振興課長 藤井 洋一	電話番号	0852-22-6257
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	外国人観光客誘致対策事業		
目的	(1) 対象	外国人に	
	(2) 意図	島根県の観光の魅力を伝え、島根県への観光誘客の拡大を図る	
事業概要	【外国人向け観光情報発信事業】外国人観光客の誘客を図るため、観光情報発信等のプロモーションを行う。 【外国人観光客誘致関連団体と連携した誘客活動】県内、山陰両県、中国5県などで組織する各外国人観光客誘客組織と連携し、誘客事業や受入体制の整備を行う。 【海外人員体制強化事業】海外の情報収集・プロモーション強化のために韓国、台湾に情報発信拠点を設置する。		

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	外国人宿泊客延べ数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		25,000	30,000	35,000	38,500	
式・定義	島根県観光動態調査結果		実績値	20,565	22,307	24,178	29,617		人
			達成率		89.20	80.60	84.70		%
式・定義	指標名	松江・出雲地区主要観光施設外国人利用者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		40,000	55,000	60,000	65,000	
式・定義	窓口で旅券又は在留カードを提示することにより外国人割引を実施。その利用者数実績。		実績値	33,621	52,689	68,439	75,018		人
			達成率		131.70	124.40	125.10		%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	63,595	96,851
うち一般財源 (千円)	63,595	96,851

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

【外国人向け観光情報発信事業】個人旅行者対策としてブログでの情報発信（韓国）、ガイドブックの作製（中国語版・英語版）を行うとともに、団体客対策として東アジア地域の旅行会社等の招請を実施した。  
 【外国人観光客誘致関連団体と連携した誘客活動】「山陰国際観光協議会」や「中国地域観光推進協議会」などとの連携を通じて海外プロモーションや受入体制の整備などを実施  
 【海外人員体制強化事業】韓国及び台湾に設置した拠点において、情報収集やプロモーションを実施した。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

【外国人向け観光情報発信事業】  
 ・韓国でのホームショッピングで島根県での宿泊を含む旅行商品をPR・販売した。  
 ・香港からのチャーター便を利用した団体旅行商品造成を行う旅行会社に対して宣伝活動を行った。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
 【外国人観光客誘致関連団体と連携した誘客活動】【外国人向け観光情報発信事業】隣接県の空港、港、国内主要空港など外国人観光客の主要ゲートウェイから島根へのアクセスが不便である  
 【外国人向け観光情報発信事業】外国人が旅行先として島根を選択するインセンティブが低い
- ②困っている状況が発生している「原因」  
 【外国人観光客誘致関連団体と連携した誘客活動】【外国人向け観光情報発信事業】県内に海外からの直接のゲートウェイがなく、広島など隣接県に訪訪している外国人観光客の誘客の更なる取り組みが必要である  
 【外国人向け観光情報発信事業】海外における島根県の認知度が低い
- ③原因を解消するための「課題」  
 【外国人観光客誘致関連団体と連携した誘客活動】【外国人向け観光情報発信事業】隣接県や関連団体と連携し、旅行会社等に対する助成事業の実施やクルーズ客船誘致など誘客対策を強化  
 【外国人向け観光情報発信事業】さまざまな手法による情報発信を強化

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、重点地域・国に対してプロモーション活動を行っていく。団体旅行商品造成支援（貸切バス助成）による団体旅行商品の増加と、それによる外国人観光客増を目指す。また、ウェブサイトやSNSでの情報発信の強化により個人旅行者の取り込みを図る。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）